

議 長 日程第2「議案第63号平成30年度松田町一般会計補正予算（第6号）（補正予算（松田小学校等整備事業）審査特別委員会報告）」を議題といたします。

本案については補正予算審査特別委員会の審査報告を求めます。補正予算（松田小学校等整備事業）審査特別委員会委員長 井上栄一君。

補正予算審査
特別委員会委員長

それでは報告書の朗読をもって報告にかえさせていただきたいと思えます。

平成30年12月12日、松田町議会議長 中野博殿。補正予算（松田小学校等整備事業）審査特別委員会委員長 井上栄一。

補正予算（松田小学校等整備事業）審査特別委員会報告書。本委員会は、12月7日、12月10日、12月11日及び12月12日に役場4階大会議室において、委員11名全員出席のもとに特別委員会を開催し、平成30年第4回議会定例会において付託された「議案第63号平成30年度松田町一般会計補正予算（第6号）」について慎重に審査しましたので、次のとおり報告します。

記、1、審査の結果。採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

2、審査の内容。町長、副町長、教育長、担当課長及び担当職員出席のもと、松田小学校等整備事業の平成30年度から平成34年度までの債務負担行為について、校舎建てかえの必要性、木造校舎の類似例、木造校舎のメリット、教室数や屋内運動場の面積など校舎建設事業の概要、児童数の推移、財源内訳と公債費の推移などを詳細に審査しました。審査の結果、松田町の将来を担う子供たちのために、小学校の建てかえは必要であると判断しましたが、次の項目について強く申し入れをして、原案のとおり賛成することとしました。

（1）外部人材を登用した松田小学校建設委員会の設置をされたい。

（2）公債費比率を抑制するため、今後の大規模事業の執行時期と町有地の処分活用を検討されたい。裏面へ続きます。

（3）松田小学校建設のためのクラウドファンディング型ふるさと納税を推進されたい。

（4）町民みんなの学校をつくるという意識を持ってもらえるように努め、

公共料金の値上げ等痛みを分かち合うことを周知されたい。

以上です。

議 長 補正予算（松田小学校等整備事業）審査特別委員会委員長の報告が終わりました。それではこれより質疑に入ります。

（「なし」の声あり）

質疑なしと認めます。討論に入ります。

8 番 小 澤 これより反対の立場から討論をさせていただきますけれども、これから申し上げる数字につきましては、一番最初の資料に基づいて行っておりますので、御了承をお願いしたいと思います。

一般会計補正予算（第6号）、債務負担行為補正、松田小学校整備事業予算に反対の立場から討論を行います。この整備事業費は28億9,600万円とされ、松田町平成29年度歳出決算額42億8,000万円に比べて巨額な金額であり、事業遂行のために24億円の町債発行が予定をされています。返済期間は20年から25年を要し、元利返済額は毎年約5億円、小学校建設後の一般町債発行額は2億5,000万円に設定をされています。松田町におきまして過去10年間の平均元利返済額は3億3,000万円であり、町債発行額は3億4,000万円となっています。学校建設後には元利返済額が毎年1億7,000万円増額され、町債発行額が今までに比べて9,000万円の減少が予定されています。この1億7,000万円の費用増額と9,000万円の歳入減少、合わせて2億6,000万円は本来投資的な事業に使われる、言いかえるならば町民福祉の向上に使われるべき財源です。この財源削減が今後20年間以上も続くということは、人口減少、高齢化の進行とあわせて、町財政はもとより町民生活や将来設計に大きな影響が懸念をされます。

小学校の建てかえ計画には賛成ですが、現在375名いる児童数の減少傾向は避けて通ることはできず、財政の影響を考慮して、当初事業規模の見直しやほかの事業優先順位の明確化を図るとともに、町民への丁寧な説明が求められています。また、財源確保の手段として、先ほども話が出ましたけれども、クラウドファンディング型のふるさと納税制度、これを活用した中で、この事業に対する理解と賛同を求めるよう、広くホームページ等でPRすること

をお願いをいたします。

いずれにいたしましても、当初計画予算には財政への影響が大きすぎるため、賛成することはできません。再考を求めます。以上です。(町長より休憩を求める声あり)

議 長 暫時休憩といたします。 (14時13分)

議 長 休憩を解いて再開をいたします。 (14時18分)

ほかに討論ございませんか。

1 番 平 野 賛成の立場で討論をさせていただきます。松田小学校建てかえに関してですが、先輩議員の方々から聞いたお話によりますと、要するにこの新人4人以外は皆さん御存じだと思うんですが、平成23年3月ですか、基金を積み始めるときに、5年後を目標にということで議会も了承したというふうに伺っております。つまり建てかえなければいけないということはわかっていたと。そしてもうね、既にその5年後が過ぎてしまいますので。今回のこの時期に建てかえということになります。災害が多発したり、それから温暖化によって気候変動が非常に激しいこういう時期に、今の実際の松田小学校の校舎を見てみると、なかなかこれは安全だと言い切れない。とてももたないのではないかというようなこともわかってきております。ですから、今回町側の提案で私たちも慎重に審査をさせていただきました。

確かに28億9,600万円という事業総額は、町の財政が厳しい中では大変大きな金額だと思います。そして、私たちもその特別委員会を組ませていただいて、財源なども委員会で審査をさせていただいたところでございます。単なる学校の建てかえに関しては、今は補助金が出ないというふうなことも聞きました。しかしその中で、例えば木の学校にするということで林野庁から、あるいは省エネなどを工夫するというところで環境省から、そして学童に関しては厚労省、そしてあと避難所に使うんだということであって総務省からということで、いろいろな補助金がもらえるところを探す努力を非常に町側がしているということもわかりました。こういった努力は一方で、よりよい学校をつくるという要素にもなると思います。

そして素案も見せていただきましたが、地域に開かれ、地域の方々の学びの

場としての学校というコンセプトも挙げられていました。これはいわば委員会報告書にありましたように、町民みんなの学校ということでもあります。これまでも体育館の使用など、一部のスポーツ団体は使っておりましたが、今度新しくなるところの案では、コミュニティールームであるとか、図書館やパソコンが使えるメディアセンターであるとか、地域の方がそこで学ぶ場として使えるというような案も入っておりました。また、体育館に関して、もちろん避難所としても使える以上に、これまでのスポーツの使用以外にも、例えばこの町では大ホールはあっても中ホールがない、使いやすいスペースが余らないということで、こういった文化的なイベントに使えるというような可能性も出てくると思います。そういったことを考えると、本当に子供、もちろん子供優先の子供のための学校であります、町民みんなの学校だというようなことを非常に感銘を受けました。またそのためにも、みんなのトイレが5つも計画に入っておりまして、各フロア、それから体育館、その5つ、今のところ案が入っておりまして、こういったものも、例えば高齢者の方、障害者の方も安心して使えるということがわかりました。

町民負担は確かに多少あると思います。しかしその中でも松田の学校は、うちの学校は、というふうに自慢できる、そういう学校をつくるんだという意識が持てるように、町側も常に町民に向けて発信していただくというようなことも、私たち条件としてつけさせていただきました。この避けて通れない建てかえであるなら、町の財政の削れるところは削ってでも、魅力のある学校をつくらないと若い人は集まらないというふうに町長もおっしゃっておりました。この魅力のある学校、これがやはり教育の町松田というものをより盛り上げるために欠かせない要素であることは言うまでもありません。そしてこの未来へつなぐ存在である子供たちにとっての学校、そしてまた先ほど申し上げましたように、地域みんなが使えるような学校、そういったものを町のシンボルになるような形でぜひつくってほしいと思っております。附帯条件として委員会が挙げた項目に留意をしながら、ぜひ進めていただきたいと思っております。

議

長 ほかにございませんか。

(「なし」の声あり)

ないようですので、討論を打ち切って御異議ございませんか。

(「異議なし」の声多数)

異議なしと認めます。討論を打ち切り採決を行います。議案第63号平成30年度松田町一般会計補正予算(第6号)補正予算(松田小学校等整備事業)審査特別委員会報告は可決です。議案第63号平成30年度松田町一般会計補正予算(第6号)は委員長報告のとおり決することに賛成の方の起立を求めます。

起立多数であります。よって、本案は委員長報告のとおり可決されました。
暫時休憩いたします。2時40分より再開をいたします。(14時25分)